

2026 年度 専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験問題

(農学部 農学科)

(科目名:小論文)

2025 年 11 月 30 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の文章は、米国ジョージア州で牧場を経営し、かつては先端の工業的畜産（放牧せず、子牛が離乳したら穀物を与えて急速肥育する）を行っていたが、その後その弊害に気づき、工業化前の形態である放牧畜産に回帰したウィル・ハリス氏の著作からの抜粋である。この文章を読み、それにつづく問いに答えよ。(全1問)

【引用部分は削除しています】

(次ページへつづく)

2026 年度 専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験問題

(農学部 農学科)

(科目名:小論文)

2025 年 11 月 30 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(前ページよりつづく)

【引用部分は削除しています】

出典【問題文】 著者：ウィル・ハリス、和訳：プレシ南日子、『環境再生型農業の未来（山と溪谷社、2024）』、126－132 頁。問題作成にあたり原著の一部を改変した。

【問い】 著者は、自ら行っていた工業的畜産（それは近代的集中型食料生産の一種でもある）が地域環境や耕作地の環境の健全性、および飼養されている動物や消費者の健康を損なうという欠点に気づき、放牧畜産に立ちかえた人である。

問題文の内容から推察して、著者が行った放牧畜産とはどのようなもので、それは何に対してどのようなメリットが得られるのか、および、それを行うにはどのような困難が予想されるかについて 500 字以内で説明せよ。

解答用紙 (全1枚)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

A large grid of graph paper. The grid is composed of small squares. On the right side of the grid, there is a vertical axis with labels: 100字, 200字, 300字, 400字, and 500字. These labels are positioned to the right of the grid lines, indicating the number of characters corresponding to the horizontal rows. The grid itself is 20 squares wide and 50 squares high.

得点
